

団体名		公益財団法人武蔵野健康づくり事業団							
①	指標名	健康づくり支援センターホームページアクセス数			目標値	100,000件	実績値	84,046件	
	過去の実績 (単位:件)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	達成率	84.0%	達成状況	未達成	
		41,417	82,463	91,918					
	取組内容	①健康づくり推進員の情報発信推進チーム活動にて習得した「ホームページの効果的でスムーズな市民への紹介」のノウハウを生かして、健康づくり推進員の各地区活動の中で情報発信を推進した。 ②ホームページや動画配信等を活用した健康づくり推進員による周知活動を行い、支援センターのホームページと事業団について広く市民に周知した。 ③他部署や地域団体等と連携した情報提供や、募集受付期間中の健康づくり情報の掲載を引き続き充実させて発信した。 ④オリジナル体操「だんだん体操」の動画リニューアルや新しい体操の動画をホームページに掲載し、ホームページのアクセス数を増やす努力とともに体操の普及啓発を行った。							
	一次評価	トップページを改修、動画コンテンツの充実や引き続き健康づくり推進員による紹介カード等を活用して情報発信に務めたものの、昨年度と比較しアクセス数が8.5%減少した。アクセス数にはばらつきがあり、特に健康づくり支援センター事業が少ない月はアクセス数が少なかったため、目標を達成できなかった。今後は1年を通じてアクセス数が一定数以上となるよう、更なる情報の充実と見やすさ等のホームページの工夫と、「自ら情報を得て健康づくりを実践していく市民」を増やしていく活動を健康づくり推進員の地域活動の中で継続実施していく。							
二次評価	ホームページアクセス数は昨年度を下回ったものの、掲載されている動画コンテンツは充実している。より認知度を上げる取組みを期待する。								
②	指標名	健診事業収益			目標値	50,000千円	実績値	49,897千円	
	過去の実績 (単位:千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	達成率	99.8%	達成状況	未達成	
		45,965	47,686	48,386					
	取組内容	①人間ドックの市民周知や利便性向上の取組みを以下のとおり実施した。 ・現在の実施曜日(火・木曜日)以外の試行実施や、Web申込みを開始した。 ・啓発チラシによる市民への周知、定期健診の受診勧奨ハガキの送付等を継続実施。 ②一次・二次予防の連携として、健康づくり推進員による健康づくりに関心の薄い働く世代や健康づくり支援センター事業利用者への人間ドック利用へつなげる活動を推進した。また、人間ドック受診者のうちの喫煙者に対して禁煙に関する情報を提供した。 ③人間ドック健診施設機能評価取得準備委員会及びワーキングを立ち上げ、機能評価取得に向けて、質を高めていくだけでなく受診啓発や生活習慣改善につなげることをより重視した、公的な組織としての特徴を活かした人間ドックに改革していくことを目指して取組みを継続した。 ④人間ドックのふるさと応援寄付金の返礼品としての提供や健診予約代行機関への登録を引き続き実施した。							
	一次評価	令和5年度からの目標値を達成できなかったため、前年度からの継続の目標値を設定した。人間ドック受診者は71人の増、オプション検査は93件の増となったものの職域健診は1人の減となり目標値には及ばなかった。人間ドックは4割程度の方が胃バリウム検査を希望せず、胃内視鏡検査を実施していないことが(新保健センター移行時に導入予定)大幅な受診者増を見込めない要因の一つと考える。職域健診は、協会けんぽが事業団よりも安価な料金設定であるため、事業団での利用は減っていく可能性が高い。今後は、人間ドックの新規オプション検査や健康度測定を取り入れた新しいコースの充実、一次・二次予防事業を連携させたしくみについて実施状況をみつつ、財源確保にもつなげていきたい。							
二次評価	目標値の達成には至らなかったものの、人間ドックについては実施曜日の拡大(試行)やWeb申込みの開始などに取組み、昨年度からの受診者及びオプション検査実施件数増となったことについて評価する。職域健診については厳しい状況ではあるが、人間ドックの受診件数増への取組みを継続し、安定的な収益確保につなげていきたい。								
③	指標名	人材育成指針に基づく人材の育成			目標値	職員研修計画に基づく研修及び職員の目標管理の実施		実績値	職層別2回13人 専門研修(法人管理・運営等) 6回 6人 専門研修(専門知識の習得等) 34回34人 外部委員会等参加研修 10回 実人数13人 基本研修(全職員対象研修) 8回 130人 PJ等 5回 29人 自主研修7人
	過去の実績 (単位:)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	達成率	100.0%	達成状況	達成	
		人材育成指針の作成	職員研修計画に基づく研修の実施	職員研修計画に基づく研修の実施					
	取組内容	①人材育成指針に基づき研修計画を作成し、研修計画に基づいて研修区分の全てを活発に実施した。(実績値欄参照) ②階層別研修は主任昇任者1名に研修を実施したほか、嘱託職員も対象に含め、健康づくり支援センター事業の「体験研修」を新たに企画・実施した。 ③ハラスメント研修、ハラスメント相談員研修に加え令和5年度に実施したメンタルヘルス研修のフォローアップとしてアサーシヨントレーニング研修等を実施した。 ④中期計画策定に向けた、全員参加のプレーンストーミングやファシリテーターフォローアップ研修を実施した。 ⑤事業団の成り立ちや果たすべき役割・その根拠等をわかりやすく整理し、人材育成担当部長が講師として一次予防と二次予防の連携の必要性についての理解を深めるための研修を職員・嘱託職員対象に実施した。また、「理事長と職員の懇談会」を各部署ごとに実施し、健康づくり事業団職員としての意識啓発を行った。 ⑥研修の実施とあわせて、人材育成の観点からの職員の目標管理を人事評価と合わせて活用実施した。							
	一次評価	令和4年度からの計画的な研修実施ができており、令和6年度は更に新たな研修も加え活発に実施することができた。職員の目標管理も継続的に実施している。外部組織への職員の派遣研修については、外郭団体及び市と交換派遣について検討したが、まだ実現していない。 令和7年度は人材育成指針に基づいた新たな研修計画を作成し、人材の育成しながら組織力の強化を図っていきたい。また、職員の目標管理を人事評価と合わせて人材育成のツールとして更に活用していきたい。							
二次評価	職層ごとに多種多様な研修の機会を設け、計画的に実施されている。事業団が果たすべき役割について、職員・嘱託職員を対象に意識啓発を行う取組みについては、事業運営にあたって組織全体のモチベーションの底上げにつながることを期待する。								